

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ

横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp URL: http://takefan.jp

現在の会員数 正会員 131名 / 準会員 10名 / 賛助会員 個人 20名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 107名)

新たな飛躍へ 事務所を移転!

夢の実現に向け 4月1日から業務開始

新年度より事務所を移転します。2007年7月にハウススクエアに初の専用事務所を開設してから約十一年間ファンクラブの活動拠点として運営してまいりました。この度更なる飛躍を期し、同じ中川にある新事務所に移転することになりました。新事務所には旧事務所にはなかった設備があるため、筍の用途開発に向けた様々な展開が可能となります。移転を契機に延長線上にない事業にも取り組みたいと思います。

◆加工食品に対する思い

過去の竹ファン通信に筍の加工食品についての記述が初めて見られたのが2012年4月号です。缶詰、水煮パックの開発について取り上げています。翌、2013年4月号ではそのまま食べられる健康食品「竹するめ」が登場します。さらに、2015年4月号では「筍を食べて環境保全を！」2016年1月号には「穂先筍を食べて放置竹林を減らそう！」がテーマに、そして昨年の2017年4月号では国民一人、あと1本筍

を食べよう!の中でレトルト食品、フリーズドライ食品、乾燥食品、冷凍食品の活用について具体的に取り上げています。

◆片思いからの脱却

この間、缶詰、水煮パックの作り方実習や竹するめの試作品づくりなどを細々と行ってきました。また、加工食品用機械等も企業からの寄付金をもとに既に購入済みです。しかし、長い思いとは裏腹に今日まで具体化したものはありません。その理由は作る場所がなかったからです。前事

究を繰り返しながら、一日も早い商品化の実現を目指したいと思います。

◆事務所移転を反転の契機に

昨年はファンクラブの歴史の中で最悪の年となりました。竹灯籠祭りが3か所すべて中止となり、経営的にも厳しい年でした。新年度は2か所で復活の予定です。

秋の竹灯籠祭りまでにはいくつかの商品が披露目できたらと思っています。課題山積の中、事務所移転を契機に竹の利活用の新しい試みを実行していきます。

すべてが縮小する日本社会にあつて、竹ファンクラブはこれからも色んなことに挑戦し続け、竹の経営資源の拡大と循環型社会の確立を目指し頑張りたいと思います。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

前回活動日から引き続き、竹灯籠まつりで初めて火を灯すことなく終わった竹灯籠の竹割り、チップー掛けの作業が続いています。また併せて竹垣の改修も進めました。

チップー掛け作業はF地区（メイン会場）から二の丸、D地区（筍畑）の一部とA地区の一部と進みました。

竹垣の改修は散策路を北側に進んだ古くなった四ツ目垣約20mを解体し、前回準備してあった親柱、立子などを使い、冷たい北風の吹く中、時々震えながらも作業を



活動日 12/16、1/14、1/27 延参加者 45名

おこない、やっと完成させました。

次回作業予定の、対面にある竹穂垣根も解体し、胴縁の制作まで進めることが出来ました。

間伐した時に調達した枝葉は差込用に集積したところで終了しております。

1月14日の作業は午前で終了し、午後からは、近くの中華「浜ドラゴン」において、盛大に新年会を開催しました。

昨年の第14回竹灯籠まつりが台風にたたられて、中止となったような残念な年にならない事を祈りつつ、皆さん和気あいあいと歓談し、今年の活動への大いなる意気込みを語りながら、無事終了しました。

担当：真板保昌

横浜国際プール支部

年末作業は地元町内会イベント「どんと焼き」用枯竹を選別し、湿ったものを乾燥させるべく積みなおした。その後傷んだ竹垣を解体、寒肥はモウソウチク部20000㎡弱に化成肥料40kgを撒き、静寂な竹林に小さなプレゼントをしました。

1月は四ツ目垣の改修でした。5ヘクタールある敷地の南半分は雑木と竹林に囲まれて散策路を通る方は、内垣と竹の調和した風情も楽しんでいるようでしたが二段胴縁24mができました。1月22日の首都圏は4年ぶ



活動日 3/11・3/12・4/9 延参加者 33名

りの大雪となり、重みで大きくしなったモウソウチクではあったが、折れ



たものは1本もなかった。立春の日は、マダケの間伐と再来年用のどんと焼きモウソウチク櫓材の確保をしました。モウソウチクはA邸うらを更に2m程セットバックすべく間伐、この中から2年先のどんと焼き用材も確保、そして春の桐蔭横浜大サービスマーケティング参加のT学生に教えながらの作業でした。

担当：根岸秀行

こどもの国支部

11月に行われました小学生の間伐体験で使用した竹林の残務処理をしました。

苗畑隣斜面のマダケ林は、前回整備から2年も経っていないのに竹が、「早く早く整備してくれ」と云っているようで、もう直ぐ竹藪になりかけていました。

2月3日は、平日参加出来ない竹取協力隊員の為に年一回土曜日に実施する作業日です。

日頃気になっていたマダケの稈が黄色くなる現象の対応策について、平石代表よりアドバイスを



受けほっとしました。この後アドバイスに従って竹を処理しました。マダケは柔らかいので、雪の重みに耐えられなくて前衛アートのように裂け易いので、今年は雪が少ないと喜んでいましたが、前回降った雪が20、30cm積りましたが、思ったより裂けている竹が少なくほっとしました。

1月12日作業の帰りに紅白梅600本が咲き乱れる梅園を通りましたが、白梅つぼみは固く、紅梅だけが見事に咲いて私達を「苦勞様」と云って見送ってくれました。

担当：中元秀幸



活動日 12/12、1/9、26（雪のため中止）、2/3 延参加者 54名

中井町支部

この期間の主な活動は、フィールドの南側及び西側を主に、間伐・運搬・焼却等の作業と、東側の間伐済み竹のチップー機での粉碎処理を竹取協力隊の皆様にご活躍頂きました。

竹の育成と竹林の整備管理として、フィールドより西側区域に化成肥料（10キロ×8袋）を散布。



また、北側道路沿（やまゆりライン）のガードレールの途切れた箇所から東へ約25メートル、竹垣の新設作業を行いました。当面は、中断されている区域の再整備を中心に

作業を進めていきます。

活動日は、木曜日を中心に行っています。皆様のご協力を頂き、中井町の竹林管理継続に努めますので、ご家族・お知り合い等へもお声を掛けて頂き、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

担当：石川正壽



活動日 1/11・25、2/8 延参加者 36名

伊豆の国支部

前日と異なり小春日和の2月18日に神奈川より16名、伊豆の国より約8名が集い午前中は本立寺裏の真竹林に汗を流し、午後は恒例の懇親会を開催しました。

平成29年度の竹林整備は最終定例活動日で、初めは多くの方の申し込みがありました。しかしインフルエンザ等の流行もありで多くの方々がキャンセルになり残念でしたが、雪をいただいて裾野ラインまでくつきり見える富士山を眺めながら枯竹や古竹の伐採をしました。

年1回の地元との懇親会は久しぶりの猪肉、白モツ、チキンのBBQで盛り上がりました。

伊豆で作業を始めて概ね10年経過、竹林整備も広範囲になり多くの皆様のご協力とご支援を受けた10年間で感謝の気持ちでいっぱいです。

ただ一方で悲しい知ら

せも有りました。葎山での作業場所設定から「巨力頂いた地元の宇野さんが12月末にご他界されました。

本日は作業着手ミレーティング時に、皆様で黙とうをささげてご冥福をお祈りしました。

宇野さんありがとうございました。

担当：五十川健郎



活動日 2/18 参加者 24名

都筑折本

1月21日の年初の折本の作業は施肥を行いました。いつもは、窒素・リン酸・カリウムの配分が8:8:8だが、今回は会員のT氏に調達を依頼し、10:5:5の配分の肥料を使用。今年の春の筍が沢山出るように、上部から撒きました。



その後は、土留や足場になっている枯れた竹を撤去する為、皆さんで協力しながら斜面の中間部から上部の「いいの広場」の脇にバケツリレーの方法で、力仕事で積み上げました。中間部から下の

竹林管理コース

枯竹等は最も下部に集積しました。撤去した跡には、間伐した新しい竹と入れ替え、その後の作業への備えとしました。また、以前使用させてもらっていた通り道を完全にふさぎ部外者が入れないようにしました。

1月24日は平日なので21日に小机からY氏と一緒に運搬したチップパー機の活躍の日です。先日「いいの広場」の横に集積された枯竹等のチップ処理を行いました。1日で終わる予定が、見通しが甘くあと1日半が必要と思われるようです。そして今年の筍掘りにいらしたお客さんに竹林の恵みと、綺麗な竹林を見てもらえるようにしたいと思います。

報告：榮 千彰

活動日 1/21・24 参加者 14名

講座 NO.8

2月17日

実習：竹林の間伐・竹垣改修
実習場所：小机城址 市民の森
講師：平石眞司・中元秀幸
参加者 3名

今回の実習は四ツ目垣の改修です。散策路の四ツ目垣5スパン分(7.8m)を取り外し、作り替えの勉強です。古くなった四ツ目垣を撤去したところへ新規に作製です。先生から四ツ目垣の基本となる、親柱・間柱への切込み寸法、方法及び胴縁の末口、元口の取り付け方向、立子の取り付け本数、方法等を教えていただき作業の開始です。親柱・間柱に胴縁を片タスキ掛けに針金で固定し、立子をシユロ縄の結びで親柱・間柱の間に通路側に3本、奥側に4本取り付けました。竹垣の基本の結び方、男結びについて、受講生には11月の竹穂垣に続いて2回目の方もいて、改めて先生に結び方の手ほどきを頂き、ああでもない、こうでもないといながらも実習中に何とか結べる様になりました。冷たい突風が吹く中、予定の長さの四ツ目垣の改修は、奥側の立子何本かの男結びを残して終了となりました。

講座も残す所、あと1回で竹の学校は終了します。今まで竹に関するいろいろな知識を教えてください。また経験が出来る事に感謝いたします。
報告：荻原三男



北山田どんど焼き

1月13日国際プールで「どんど焼き」があると会報に載っていたので行ってみることにした。国際プールには行った事が無いので少々不安ではあったが、会員の誰かを見れば、解るだろうと行ってみた所、「だーれもない！」日付を見誤ったかと。

ウロウロしながら山田富士公園に近づき、やっと仲間合流出来た。何と北山田駅のすぐ後ろで国際プールより近かった！

どんど焼きの作業自体は、燃やす場所の設置と、お札・注連縄・その他の取り付けだが、ユニック車と言う小さなクレーン車とも力を合わせ、荒縄で8m位の四角錐の竹の櫓を組み、その中に古い竹をどんどん入れて行った。

ようやく櫓を完成させた後は集まってきた人が思い思いのお札・注連縄・

和飾り・だるま・書初め等々様々な物を持ち込んできた。金物やプラスチック等は極力外すようにしていたが、次から次へ集まる為大わらわだった。ほぼ予定通りの時刻に点火され、直ぐに盛大に燃え上がった。竹のボンボン破裂する音を伴って櫓が崩れ落ちた。竹ファンの担当はここまでで解散し、後は銘々どんど焼きの中心周囲でおき火で餅を炙って無病息災を願ったりで寒い中体を温めました。

報告：梶間谷 允



TAKEFAN NEWS

たけのこ掘り指導スタッフ募集

お申込みは各日7日前までに希望日を事務局へ

都筑折本（竹取援農隊）

4月15日（日） 午前中

小机城址市民の森（竹取協力隊）

4月21日（土） 午前中



竹の学校「竹林管理コース」10名が卒業

受講生16名が受講し、前年度からの未受講分を履修して修了された方6名。今年度、全受講の方4名でした。おめでとうございます。

相野谷くみ子、清木優美子、宮澤知実、林 国雄、
國松秀行、松本 彰、小日向 明、荻原三男、小川博永、
大野文子

新入会員紹介

下線は竹取協力隊入隊者

◆なし

【活動報告】

1月20日（日）横浜市環境創造局活動支援センター
「間伐材マネジメント研修 金閣寺垣作製…1名
2月24日（土）理事会
3月3日（土）通信発行

事務所移転のお知らせ

平成30年3月1日より下記住所に移転しました。
なお、電話・FAX・メールアドレス等は現状通りです。
新住所：〒224-0001
横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304



◆上野動物園のパンダ「シャンシャン」が
元気一杯です。そんな折中国からパンダの
故郷・四川省にある7つの自然保護区の1

つで、住民が放牧した牛や馬がササ竹を食い荒らし、パンダ生息地の3分の1が失われているとのこと◆山岳部農家の貴重な収入源だが「危急種」分類されているパンダの生息エリアが脅かされています◆竹林の近くに2月になると早春に芽吹く「春の味覚」独特の風味と苦みを持ち漢方としても古くからせき止めや健胃に効果がある「フキノトウ」が出る所がある。花言葉は「待望」今冬のような寒波も元気に乗り越えて出てくる◆ライトグリーンのかわいいつぼみは大きくなると苦みが増すそうで、タケノコが地中からわずかに穂先が出る小ぶりものが美味なのと同じだ。

平成30年度会費納入のお願い！

4月は会費更新の月です。
ファンクラブの活動は会員の皆様の会費やご支援に
支えられて成り立っています。
一人一人の力は小さくても、仲間が増えれば社会を
動かす大きな力となります。
是非今年も継続してファンクラブの活動をご支援下
さる様お願い申し上げます。

会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円
(新規入会の正会員希望の方のみ、継続会員は不要)

◆会費種別
正会員 個人2,000円
(この法人の目的に賛同して入会、活動に参加し、総会
の議決権を持つ個人)

準会員 正会員の家族1,000円、学生1,000円
(この法人の目的に賛同して入会、活動に参加し、総会
の議決権を持たない個人)

賛助会員 個人3,000円、法人以外の団体5,000円、
法人30,000円(各一口以上)

(この法人の目的に賛同し、活動を支援するために入会
した個人、法人及び法人以外の団体で、総会の議決権を
持たない)

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084
特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

29年度総会6月17日（日）開催

29年度総会を下記の通り開催します。
別途案内状差し上げますのでご出席下さい。

日時 平成30年6月17日（日）13:00～14:00
場所 城郷小机地区センター
内容 総会

主な議題

- ①平成29年度事業報告並びに収支決算・監査報告
- ②平成30年度事業計画並びに収支予算書
- ③役員改選

桐蔭横浜大学サービスラーニング受入れ

2011年から始まり、平成29年度後期も受け入れが始まりました。2月4日から横浜国際プールをメインにして竹取協力隊と共に2名が活動中です。

※サービスラーニング

今まで学んで来たことを実際の活動(奉仕、ボランティア活動)に活かし、その活動から自分の学問的取り組みや進路について新たな視野を得る教育プログラム。サービスラーニングを行うことにより講義(実習)単位が取得できる。

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動
 ※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい

4月1日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠設置 10:00～15:00	5月8日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
4月6日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備 10:00～15:00	5月10日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
4月7日(土) イベント	横浜国際プール(事前申し込み) 第11回竹灯籠まつり(予備日8日) 9:00～21:00	5月12日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の整備と密度管理 10:00～15:00
4月8日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片づけ(午前中、予備日9日) 10:00～12:00	5月13日(日) 援農隊	都筑折本 竹林整備と密度管理 10:00～12:00
4月10日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00	5月19日(土) 協力隊	伊豆の国市 竹林の整備 10:00～15:00
4月12日(木) 援農隊	都筑折本 間伐竹チップ化 10:00～15:00	5月22日(火) 協力隊	こどもの国 親竹選定と密度管理 10:00～15:00
4月14日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り・密度管理 10:00～15:00	5月24日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
4月15日(日) イベント 援農隊	都筑折本(事前申し込み) 筍掘り(午前中) 10:00～12:00 間伐竹チップ化 13:00～15:00	5月26日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 親竹の密度管理 10:00～15:00 講義:竹林管理 9:00～12:00 実習:若竹伐採 10:00～15:00
4月17日(火) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り・チップ化・密度管理 10:00～15:00	6月2日(土) 協力隊	横浜国際プール 親竹の密度管理と下草刈り(マダケ) 10:00～15:00
4月20日(金) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り・チップ化・密度管理 10:00～15:00	6月5日(火) 援農隊	都筑折本 竹林整備と間伐竹チップ化 10:00～15:00
4月21日(土) イベント	小机城址市民の森(事前申し込み) たけのこ掘り(午前中) 10:00～12:00	6月7日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
4月22日(日) 協力隊	伊豆の国市 竹林の整備 10:00～15:00	6月9日(土) イベント	中井町(事前申し込み) マダケの筍狩り 10:00～13:00
4月24日(火) 協力隊	こどもの国 親竹選定と密度管理 10:00～15:00	6月12日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
4月26日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00	6月16日(土) 協力隊	伊豆の国市 竹林の整備 10:00～15:00
4月27日(金) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠チップ化 10:00～15:00	6月21日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00
5月6日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 10:00～15:00 講義:竹の生態 9:00～12:00 実習:穂先筍と竹水 13:00～15:00	6月23日(土) 協力隊	小机城址市民の森 若竹の伐採とお礼費 10:00～15:00
		6月26日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00～15:00

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993